



首都圏の既婚女性485人に、家庭料理について聞いた。

全体の7割が「料理は好き」

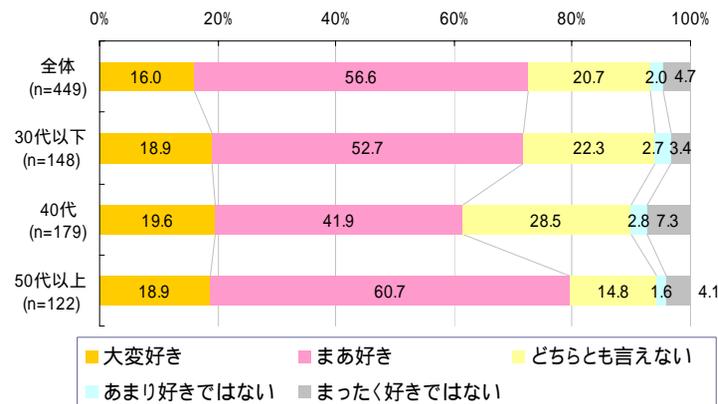
日頃、料理に対してどのように思うかを聞いたところ、全体の56.6%が「まあ好き」と回答。「大変好き」の回答を合わせると7割が「好き」となる。

年代別では、「大変好き」な人の割合は大差なく、「まあ好き」の割合に差がある。40代の「まあ好き」は50%を割っているが、他の年代は「まあ好き」は50%超となっている。また、「どちらとも言えない」の回答については40代が最も多かった。全体に40代で「料理が好き」という気持ちが弱い。(グラフ)

日頃の料理は「手間をかけても、できる限り手作りの料理で食卓を整える」の回答が55.7%

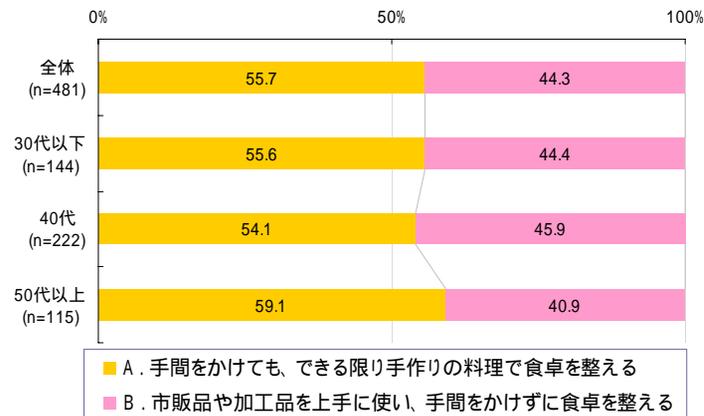
「手間をかけても手作り」派か、「市販品活用で手間を省く」派か、自分の日頃の行動と、どちらが近いかを聞いた。結果としては、年代を問わず、ほぼ半々の結果となったが、わずかに「手作り派」が多く、全体では55.7%が「手間をかけても、できる限り手作りの料理で食卓を整える」と回答した。(グラフ)

グラフ 料理に対して



グラフ

日頃の行動で近いもの



<回答者プロフィール>

年齢:30代以下 29.9%、40代 46.2%、50代以上 23.9% 平均年齢 44.1歳。
居住地:東京都 38.6%、神奈川県 33.8%、千葉県 15.9%、埼玉県 11.5%、栃木県 0.2%
働き方:専業主婦 51.8%、フルタイム 9.1%、パート・アルバイト 35.5%、その他 3.7%
子供の有無:子供あり 83.7%、子供なし 16.3%
子供の性別:男子だけ 35.8%、女子だけ 30.4%、男女両方 33.8%

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



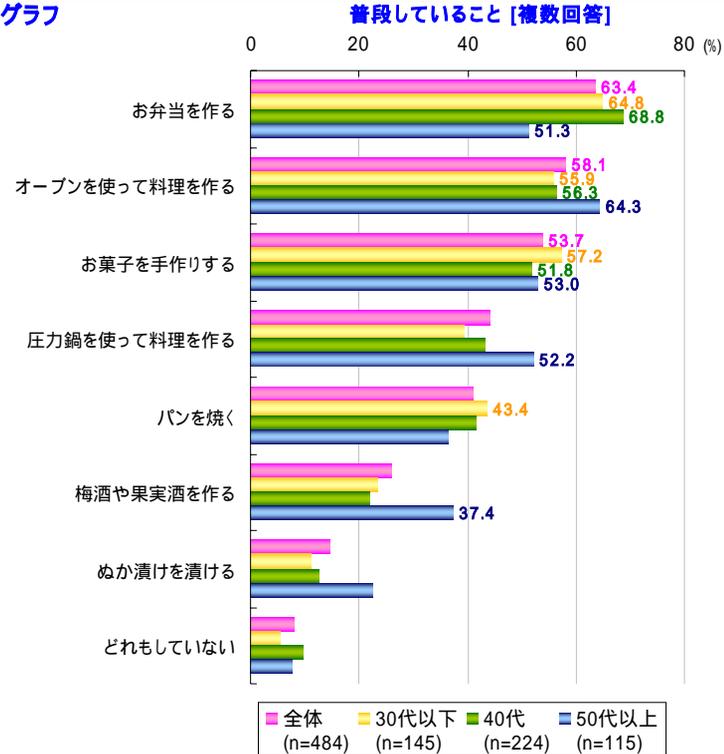
普段していることのトップは、「お弁当を作る」で6割超

料理に関して普段していることを複数回答で聞いたところ、トップは「お弁当を作る」で63.4%となった。次いで、「オープンを使って料理を作る」58.1%、「お菓子を手作りする」53.7%と続く。年代別の特徴としては、30代以下では「お菓子を手作りする」「パンを焼く」が他の年代よりも多い。50代以上では、「オープンを使って料理を作る」「圧力鍋を使って料理を作る」「梅酒や果実酒を作る」「ぬか漬けを漬ける」が他の年代よりも多かった。50代以上は、料理のパリエーションも豊富なことがうかがえる。(グラフ)

普段の夕食のおかずは、一人あたり「3皿」が46.6%でトップ

普段の夕食のおかずは、一人あたり何皿かを聞いた。全体で最も多かったのは、「3皿」で46.6%であった。次いで「2皿」35.4%、「4皿」が10.4%と続く。年代別で見ると、どの年代も多かったのは「3皿」であるが、50代以上は「3皿」の回答が最も多く54.3%となった。また、50代以上は「4皿」の回答も他の年代より多かった。下の年代は、おかずの皿数が少なめ、年代が上がるにつれて皿数の多い傾向が浮かんた。(グラフ)

グラフ



<回答者プロフィール>

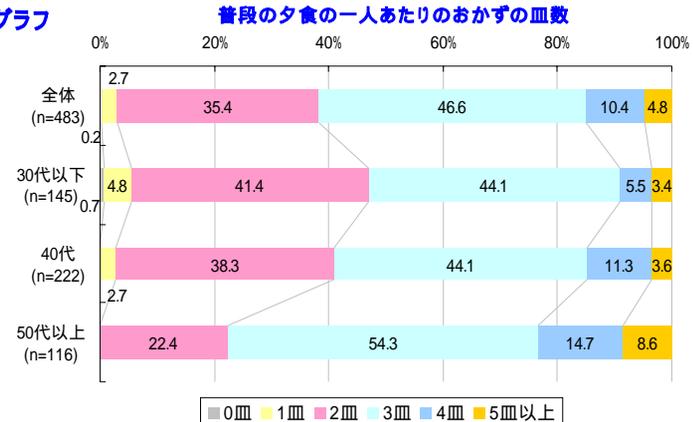
年齢:30代以下 29.9%、40代 46.2%、50代以上 23.9% 平均年齢 44.1歳。
居住地:東京都 38.6%、神奈川県 33.8%、千葉県 15.9%、埼玉県 11.5%、栃木県 0.2%
働き方:専業主婦 51.8%、フルタイム 9.1%、パート・アルバイト 35.5%、その他 3.7%
子供の有無:子供あり 83.7%、子供なし 16.3%
子供の性別:男子だけ 35.8%、女子だけ 30.4%、男女両方 33.8%

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430

グラフ





普段作っているメニューで「なんとか改良したい」ものは、56%が「ある」と回答

普段作っているメニューで、「なんとか改良したい」ものがあるかを聞いたところ、半数を超える56.0%が「ある」と回答した。各年代とも、「ある」の回答のほうが多くなっていった。(グラフ)

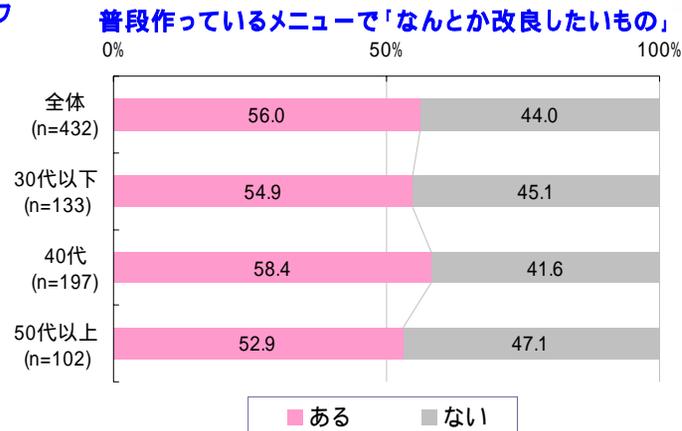
普段の料理をどのように「なんとかしたい」かは、「もっと味を良くしたい」がトップで59.4%

普段作っている料理を、どのようになんとかしたいかについては、複数回答で聞いた。最も多かった回答は、「もっと味を良くしたい」で59.4%。次いで「もっと別なアレンジをしたい」で41.9%、「もっと本格的に作りたい」28.8%と続く。

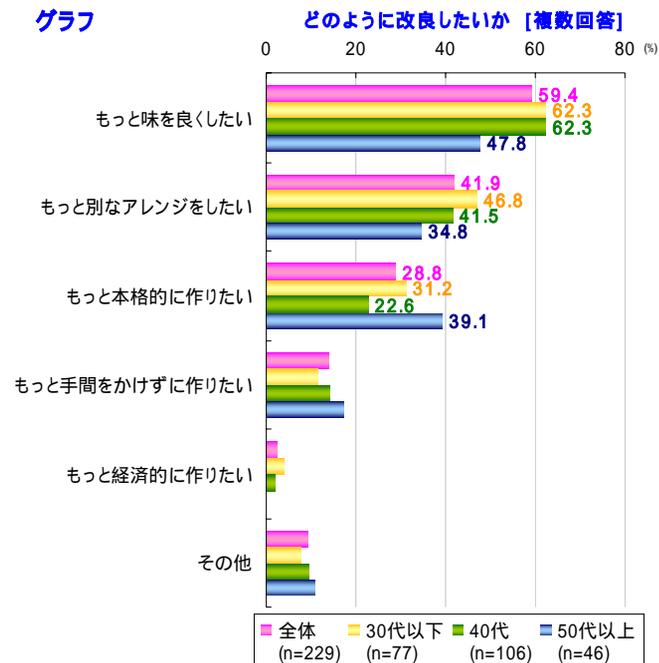
年代別で見ると、「もっと味を良くしたい」は30代以下・40代が多く、「もっと別なアレンジをしたい」は30代以下が多かった。「もっと本格的に作りたい」は50代以上に多く見られた。(グラフ)

もっと何とかなしたいメニューとしては、「カレー」「煮物」「チャーハン」「味噌汁」「天ぷら」と、日常的に作る回数の多いメニューが多く挙がった。(次ページ参照)

グラフ



グラフ



<回答者プロフィール>

年齢:30代以下 29.9%、40代 46.2%、50代以上 23.9% 平均年齢 44.1歳。
居住地:東京都 38.6%、神奈川県 33.8%、千葉県 15.9%、埼玉県 11.5%、栃木県 0.2%
働き方:専業主婦 51.8%、フルタイム 9.1%、パート・アルバイト 35.5%、その他 3.7%
子供の有無:子供あり 83.7%、子供なし 16.3%
子供の性別:男子だけ 35.8%、女子だけ 30.4%、男女両方 33.8%

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430



普段作っているメニューでなんとか改良したいもの

順位	なんとか改良したい料理名	主な「なんとか改良したい」理由	件数
1	カレー	味に深み・コクがない・いつも同じになりがち	22
2	煮物	何か足りない感じになる・味が安定しない・深みがない	20
3	チャーハン	ご飯がパラパラにならない	15
4	味噌汁	具がマンネリ	13
5	天ぷら	カラッと揚がらない	9
6	餃子	カリッと焼けない	8
7	魚料理	味が似てしまう・レパートリーが少ない	7
7	鍋料理	だしは変わっても、いつも同じになりがち	7
7	肉じゃが	毎回味がバラバラ・味のしみこみが良くない	7
7	野菜炒め	味がいつも同じになる	7
11	グラタン	ダマになりやすい	6
11	パスタ料理	バリエーションが少ない	6
13	麻婆豆腐	見た目・味がレストランのものにならない	5
13	おでん	味がいまいち決まらない	5
13	ハンバーグ	中がジューシーにならない	5
16	サラダ	マンネリ化している	4
17	オムライス	卵がふわふわにならない	3
17	ロールキャベツ	もっときれいに仕上げたい・もっと効率よく手軽に作りたい	3
17	豆腐料理	もっと、いろんなレシピを知りたい	3
17	お弁当	マンネリ化。早く短時間に作れたら・・・	3
17	煮魚	魚料理全般が苦手。煮魚は味のしみ込み具合がうまくいかない。	3
17	酢豚	あんかけの感じがいつも上手く出来ない	3

3件以上あがったものをランキング

<回答者プロフィール>

年齢: 30代以下 29.9%、40代 46.2%、50代以上 23.9% 平均年齢 44.1歳。
居住地: 東京都 38.6%、神奈川県 33.8%、千葉県 15.9%、埼玉県 11.5%、栃木県 0.2%
働き方: 専業主婦 51.8%、フルタイム 9.1%、パート・アルバイト 35.5%、その他 3.7%
子供の有無: 子供あり 83.7%、子供なし 16.3%
子供の性別: 男子だけ 35.8%、女子だけ 30.4%、男女両方 33.8%

リビングくらしHOW研究所 女性の意識と行動を分析・研究する、リビング新聞グループのマーケティングカンパニーです。あらゆる消費の中心に存在する女性生活者と、より深く、効果的なコミュニケーションを実現するための情報を発信しています。

ウェブサイト <http://www.kurashihow.co.jp>

問い合わせ TEL03-5216-9420 FAX03-5216-9430